

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公開番号】特開 2001-215537(P2001-215537A)  
 【公開日】平成 13 年 8 月 10 日 (2001.8.10)  
 【出願番号】特願 2000-22933(P2000-22933)  
 【国際特許分類】

**G 0 2 F 1/167 (2006.01)**

**G 0 3 G 17/00 (2006.01)**

**G 0 3 G 15/05 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 F 1/167

G 0 3 G 17/00

G 0 3 G 15/00 1 1 5

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 31 日 (2006.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定のギャップをおいて対向する、少なくとも一方が光透過性を有する 2 枚のシートと、  
 、  
 前記 2 枚のシートの間に形成され、周囲を仕切り壁で囲まれた複数の現像剤収容セルと  
 、  
 前記各セルに内包された乾式現像剤と、  
 を有しており、  
 前記乾式現像剤は、互いに帯電極性の異なる、且つ、互いに光学的反射濃度の異なる少なくとも 2 種類の、摩擦帯電性を有する乾式現像粒子を含んでおり、  
 前記複数の現像剤収容セルは蜂の巣状に配列形成されていることを特徴とする可逆性画像表示媒体。

【請求項 2】

前記可逆性画像表示媒体の単位面積  $S_o$  における非画像部の面積  $S_n$  の割合  $S_n / S_o$  が  $0.0001$  以上  $0.5$  以下である請求項 1 記載の可逆性画像表示媒体。

【請求項 3】

任意の一つの現像剤収容セル又は順次連続する複数の任意の現像剤収容セル群において、前記一つの現像剤収容セル又は前記複数の現像剤収容セル群により提供される画像表示領域の面積が  $S_a$  であり、前記一つの現像剤収容セルの外輪郭を形成している前記仕切り壁の中心線で囲まれる面積又は前記複数の現像剤収容セル群の外輪郭を形成している前記仕切り壁の中心線で囲まれる面積が  $S_b$  であるとき、前記一つの現像剤収容セル又は前記複数の現像剤収容セル群に関する  $(1 - S_a / S_b)$  の値が  $0.0001$  以上  $0.5$  以下である請求項 1 記載の可逆性画像表示媒体。